

ぼうさいいいんかい えーいーでーごうしゅう おえて  
◎防災委員会◎ AED講習を終えて  
『救命の連鎖』…命のバトンをつなぐために  
中村橋福祉ケアセンターでは 12月1日・6日  
に緊急時対応(AED)の勉強会を行いました。  
当日は中途障害者支援係、生活支援係の各係で  
1日ずつ練馬区防災学習センターの職員を  
招いて開催しました。

多くの職員が過去に受講済みでしたが、実践  
を通じ使い方を思い出しながら、再確認するこ  
とが多くありました。

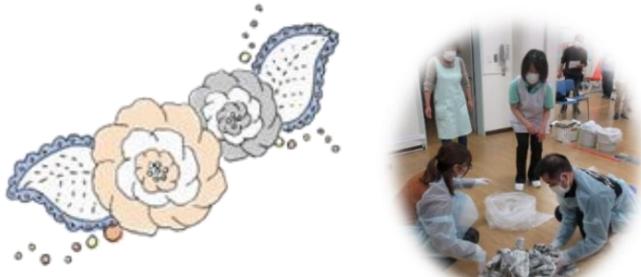
最初は慎重にAEDを使用していた職員も、  
慣れてくると実際の支援現場や生活近況で  
起こった際をイメージして練習出来ていまし  
た。終了後は普段からの備えと知識、そして  
勇気が詰まった『バトン』を持っていること  
が、私達にできる救命の第一歩だとかみしめた  
時間となりました。

緊急時にしっかりと対応できるように、今後  
も定期的に勉強会を開催していきたいと思  
います。



りすくまねじめんとういんかい  
リスクマネジメント委員会  
今年度の2回目標語募集は、今までに職員  
から提出された全目標語の中から、全職員によ  
りベスト5を選定しました。

- 良い支援 心の余裕と 笑顔から  
←No.1に決定
- 見逃さない 感じた疑問 すぐ確認
- 確かめる 気持ちのゆとりと 待つ勇気
- 失敗を 認めることが 第一歩
- 分からない あせった時こそ ひと呼吸  
今後 も 様々な アプローチ を 通じて、  
リスクマネジメントへの意識向上へと繋げて  
いきたいと思います。



かんせんしょうたいさくいいんかい  
～感染症対策委員会より～  
ノロウイルス集団感染防止対策の内部研修  
を、中途障害者支援係、生活支援係の職員  
合同で行いました。  
実際にロールプレイでは嘔吐物処理を  
行ない、処理の方法とポイントを理解するこ  
とが出来ました。また、各自が担当する現場  
で実際に発生した場合、どのような動きをす  
ればいいのか、シミュレーションをするよい  
きっかけとなりました。

秋から冬にかけては、風邪をはじめたくさ  
んの感染症が発症する季節となります。特に  
ノロウイルスは感染力が強いため、嘔吐時の  
初動処置を正しく行い、施設内の集団感染を  
防止することが大切です。今後も定期的に  
研修を実施していき、職員全体の対応力向上  
につなげていきたいと思います。

へんしゅうこうき  
編集後記

あんさんぶる 第7号を 弥生の月に  
届けられること、とても嬉しく思います。  
今年の春は、皆様にどんな出会いを用意して  
いるのでしょうか。

私は、印象に残るような風景にたくさん  
出会えるようカメラを片手に歩く時間を大切  
にしています。特に桜の季節は、よい表情  
が撮れたり、心がふんわり癒されたり、1年  
の中でも特別な期間ですよね。春の空に  
透かされた桜の花びらが散って花吹雪となる  
まで、あっという間ではありますが、今年も  
陽だまりからその変化を見守っていきましょ  
う。



発行者：社会福祉法人東京援護協会  
中村橋福祉ケアセンター

〒176-0021 東京都練馬区貫井 1-9-1  
TEL 03-3926-7213 (生活介護事業)  
03-3926-7214 (中途障害者通所事業)  
FAX 03-3926-7216 (共通)

ご挨拶

暖かい日が増えて、日が沈むのが遅くなっていることを実感する中で、冬が終わり春が  
近づくのを感じます。新型コロナウイルス感染拡大対応にも変化があり、政府より3月13  
日に屋内・屋外問わず、マスク着用について個人の判断に任せるとなりました。普段の生活  
に戻る明るい兆しではありますが、センターとしては基礎疾患等がある方もいますので、  
マスクを着用した支援や訓練を継続していくことが必要と考えています。新型  
コロナウイルス対応も4年目、初期の不明瞭な知識の中での不安から、正しい知識と経験に  
よる安全・安心な対策が確立してきています。今後は感染拡大以前の支援や訓練に近い内容  
で提供がされるように、施設として実現していくことに注力し、施設生活の充実という目的  
に向かって職員一同力を合わせていきたいと思っています。

中村橋福祉ケアセンター 施設長 今井 克

しょうがいしゃあしーてーぞうだんまどぐち  
障害者ICT相談窓口

練馬区は、1月11日(水)より、中村橋福祉ケアセンターに「障害者ICT相談窓口」を開設  
しました。窓口では、イラスト・文字で会話を補助するアプリやパソコンを視線の動きで操作  
できる機器など、障害者の意思疎通を助けるツールの相談や体験、操作方法のサポートを  
行います。

障害当事者や介助者の方などからは、「スマートフォンの読み上げ機能などのアプリがあるが  
使いこなせない」「聴覚障害のある方とのコミュニケーションで便利なものはないか」等、  
ICTを活用したいが、まだ利用できていないとの相談が寄せられていました。他にも、地域  
の団体と連携し、自宅に訪問して機器のセットアップをサポートするなど、ICT機器等の  
利用について支援し、日々の生活や活躍の場を広げるお手伝いをしていきます。詳しくは、  
中村橋福祉ケアセンターのホームページをご覧ください。

